

Q : 薬を服用していると、献血はできないのですか？

A : 当日服用していても採血可能な薬剤

1. ビタミン剤 貧血治療薬、ビタミン K を除く
2. ミネラル剤 貧血治療薬を除く
3. 漢方薬 肝疾患、感冒、喘息等のために服薬している場合を除く
4. 高尿酸血症治療薬（痛風） ザイロリック、コリナム、パラジソン、リボール等
5. 高脂血症治療薬 エパデール、ロトリガ等を除く
6. 花粉症治療薬 セレスタミン等を除く（セレスタミン等ステロイド含有薬は服用中止後 3 日以上経過後採血可。）市販の抗アレルギー薬は当日服用可
7. 胃腸薬 感染性下痢症のある場合を除く（制吐剤は当日不可）
8. 低用量・中用量ピル（女性ホルモン）・避妊目的や更年期障害や月経困難症等の補充治療法に用いている場合低用量ピルの服用は採血可。月経移動（周期変更）・機能性出血を目的に服用する中用量ピルも採血可。
9. サプリメント （栄養補助食品）
10. 抗潰瘍剤 潰瘍予防薬として用いている場合は可、現在消化性潰瘍のある場合は治癒するまで不可。逆流性食道炎治療は採血可
11. 緩下剤 アローゼン、セナ、セミンソフト、プルセント、ひまし油など
12. 降圧剤 心、腎、血管系の合併症がないこと。高血圧症の治療薬として複数内服も可、血圧がほぼ正常にコントロールされていることが条件。当日の血圧を考慮します。
13. 過敏性腸症候群治療薬 トランコロロンなど、抗うつ薬でなければ採血可
14. 局所投与の薬物 点鼻薬、点眼薬、吸入、外用薬（塗り薬、貼り薬）

B : 当日服用していなければ採血可能な薬剤（前日まで服用可）

1. 内服用筋弛緩剤 アロフト、ミオール、テルネリン、ムスカム等
2. 睡眠薬、抗不安剤（安定剤） 原疾患、体調が参考とされる
3. 消炎酵素剤 ノイチム、レフトゼ等（炎症症状がない場合）
4. 前立腺肥大治療薬 アボタート、アボルブ、ザガーロ（6 ヶ月後採血可）、プロスカ、プロペシア（1 ヶ月後採血可）を除く
5. 利胆剤 ウルリ、コスパノ等（基礎疾患による）
6. 市販薬；①抗菌剤のはいつていない風邪薬 当日症状がないこと
②市販の消炎鎮痛剤
(ただし①②とも血小板成分採血は内服中止後 3 日以上経過後に採血可)

7. 去痰剤・・・疾患により症状が落ち着いていれば当日服用でも採血可能な場合があります。
8. **高脂血症治療薬のエパデール、ロトリガ**・・・血小板採血以外については当日内服して
いなければ可。血小板成分採血については服薬中止後3日以上経過後採血可。
9. **消炎鎮痛剤**・・・血小板採血以外の場合は症状がなく落ち着いていれば前日までの
服用は可。血小板採血は服用中止後3日以上経過後採血可。

C：最終服薬日を含む3日間は採血しない薬剤

*** 服用最終日を「1日目」とカウントし、「4日目」から採血可**

1. 抗精神剤、抗うつ病（抗不安剤、安定剤を除く。）・・・ 体調が参考とされる。
2. 抗菌薬（抗生物質、合成抗菌薬）、抗真菌薬、抗ウイルス薬 …………… 当日症状がなく
治癒していること。
3. 止痢剤 …………… アトソルビン、タンソルビン、フェロペリンA、ロペミン
（感染性下痢に注意）
4. 喘息治療薬 …………… キンチン誘導体などの内服薬、β2刺激薬（吸入薬、貼付薬
を含む）。
1 か月間発作がなく発作予防的吸入薬のみであれば採血可能。
5. 痛風発作治療薬 …………… **コルヒチン**
6. 事後に服用するピル（中用量ピルを含む）
7. 花粉症治療薬 …………… ステロイド系抗アレルギー薬（**セスタミン**等）
8. 特殊な治療薬については、原疾患などを考慮した検診医の判断になります

その他

1. 出血を伴う歯石除去など**歯科治療**を受けた場合は、**3日以上経過後**
2. **注射薬**の使用については、**原則当日は採血不可**
3. **鍼灸治療**は当日不可。置き針は翌日から採血可

※服薬しており不安のある方は、遠慮なく検診医、職員にご相談ください。

